

# 第54回 令和5年度事業報告

## 1 会員の異動

	期首会員数	入会員数	退会員数	期末現在数
正会員	79	3	7	75
準/賛助会員	4	1	0	5

## 2 事業報告

### (1) コロナ終息に合わせた情勢変化と予算達成について

新型コロナウイルスは終息したといつても過言ではなく、経済の再活性やビデオ会議、クラウドPBXなどのDX化、ニューノーマルの需要もあり需要は変化していった。

そういう点では激動の一年であったが、売上は3.2億と予算を達成。NTT東日本からは通機特約店の卸販売予算4000万円を設定されており、その達成率は32%となっている。

NTT東日本の部門長幹部と商談する機会も設けることができ、関係継続の為来期も回線/特約の予算設定がされており、引き続き販売拡大に協力いただきたい。

販売キャンペーンを実施し、東西ともに回線件数が増えた。成果が見込める施策を来期も打ち出していく。

### (2) 委員会運営について

事業委員会は2024年1月より久保田委員長から木津副会長に委員長を代行委任し、委員長業務を実施いただいた。

商材、キャリアごとに担当委員を選定し、商談、打合せ対応の質を高めた。来期も同様、委員会内外から必要に応じて担当を設定し、手数料条件をはじめとした交渉の質を高めていく。

会員増強委員会は継続してHPの内容精査を行い、DM施策を活用して数社の入会実績を挙げた。

### (3) 各支局の活性化

2023年12月に北日本支局にて渡辺会長を交えての意見交換会を実施。2024年度も広島にて南日本支局にて意見交換会/勉強会を開催した。

来期も支局との交流を継続していく。

### (4) 事務局体制変更について

大石事務局長が2023年5月で退職し、新たに斎藤を事務局長に任命した。同年4月に事務局長谷川を採用し、斎藤、長谷川の2名体制にて運営を継続している。